

◇ 教員免許更新講習シラバス(選択領域分)

講座内容についての問い合わせ先…koushin@nara-edu.ac.jp(奈良教育大学)

| 講習名 | | 主な受講対象者 | 時間 | 講習形態 |
|--|--|--|-------------------|-------|
| 音・かたち・色彩から表現とコミュニケーションを考える | | 小学校教諭 | 6H | 講義・演習 |
| 日程 | 定員 | 講師名(所属・職名等) | | |
| 平成29年10月28(土) | 10名 | 宮下 俊也(奈良教育大学・理事・副学長) 岩村 伸一(京都教育大学・理事・副学長) 岡本 幾子(大阪教育大学・理事・副学長) | | |
| 会場 | | | | |
| 奈良教育大学 | | | | |
| 【講習の概要】 | | | | |
| 音・音楽、かたち・造形、色彩、を中心に、人・生活とそれらの関係を、表現・コミュニケーションという視点で演習を通して考える。それを踏まえ、音楽、図画工作、家庭科にとどまらず、生活を豊かにしていくために小学生の感性をいかに育てていってよいか、新学習指導要領に対応する教育実践と関わらせながら探っていく。 なお、本講習は奈良教育大学・京都教育大学・大阪教育大学の各講師が双方向遠隔授業によって行う。三大会場の受講生が演習や対話等を通して繋がり、学び合えることが期待される。 | | | | |
| 【小テーマ①】 人と音楽との関係から「表現すること」の意味を考える | | | 1.5H (担当講師:宮下 俊也) | |
| 講習形態 | 講義形式・演習形式 | | | |
| 講習内容 | 音を奏でること、音楽を聴くこと、を通して、人と音楽との関わりについて考える(受講生の音楽的技量は問いません)。その上で、「表現する」とはどのようなことか、そして思考力・判断力と表現力とはどのような関係にあるか、を共に理解し、小学生に対する表現力育成の方法を、言語活動等と関連付けて探っていく。 | | | |
| 到達目標・確認指標 | 「表現する」とはどのようなことかを理解し、小学生に対するその指導のポイントを、任意の教科の「見方・考え方」に即して1つ以上述べるができる。表現することの意味と指導のポイントが関連付けられているかを評価指標とする。 | | | |
| キーワード | 音、音楽、表現、イメージ、言語 | | | |
| 【小テーマ②】 造形遊びの視点から美術を考える | | | 1.5H (担当講師:岩村 伸一) | |
| 講習形態 | 講義形式・演習形式 | | | |
| 講習内容 | 小学校図画工作の主要な内容である造形遊びに焦点を当て、いくつかの事例を挙げながら、その題材の持つ基本的な部分や要点を解説するとともに演習を行う。そのことを通じて、ワタシとモノとの関係を感じながら、「美術表現」とはなにか、また学校での美術の意味などを共に考えていく。 | | | |
| 到達目標・確認指標 | 演習等の体験を通じて、ワタシとモノとの実際の関係を感じ、従来の図画工作の枠組を広げていく方向で、学校での美術とはなにかということについて、主体的に考えることができる。その結果を述べることを確認指標とする。 | | | |
| キーワード | 美術、造形遊び、作業、感覚、経験、表現、イメージ、かたち | | | |
| 【小テーマ③】 生活に役立つ色彩の理解と応用 | | | 1.5H (担当講師:岡本 幾子) | |
| 講習形態 | 講義形式・演習形式 | | | |
| 講習内容 | 表現やコミュニケーションツールとしての色彩の役割について学び、小学校家庭・生活に関連する衣食住の色彩について理解を深める。また、ユニバーサルデザインの観点から、できるだけ多くの人に色彩情報を適切に伝えることができるよう、身近な色彩の事例をあげて検証していく。 | | | |
| 到達目標・確認指標 | 色彩の仕組みや基本的な用語の理解を通して、暮らしの中で色がもたらす様々な効果について認識を深める。また、演習を通じて、表現やコミュニケーションにおいて効果的で誰もが見分けやすい色彩の選び方を理解し実践できることを確認指標とする。 | | | |
| キーワード | 色彩、衣食住、快適、安全、カラーユニバーサルデザイン | | | |
| 【小テーマ④】 新学習指導要領に見る感性、未来・社会創造 | | | 1.5H (担当講師:宮下 俊也) | |
| 講習形態 | 講義形式・演習形式 | | | |
| 講習内容 | まず、小テーマ①②③に共通する鍵概念を共通理解する。その上で、新学習指導要領で求められている「感性を豊かに働かせながら、どのような未来を創っていくのか、どのように社会や人生をよりよいものにしていくのか」を自ら考え出す力を育成することについて考える。 | | | |
| 到達目標・確認指標 | 「感性」の意義を理解した上で、「表現」「コミュニケーション」に視点を当て、小学校教諭として自らの教育実践を今後どう改善していくかを述べるができる。小テーマ①②③で学んだことが踏まえられているかを評価指標とする。 | | | |
| キーワード | 感性、社会創造、未来を切り開いていく力、新学習指導要領、教育実践 | | | |
| 試験方法 | 筆記試験 | | | |
| 成績評価の方法・基準等 | 小テーマ①②③④の内容に即した課題を1問ずつ出題し、それぞれの到達目標・確認指標をもとに各25点満点で評価する。総合点で60点以上を合格とする。 | | | |
| 備考 | 小テーマ①④は奈良教育大学、同②は京都教育大学、同③は大阪教育大学の各講習会場から他大学講習会場へ、双方向遠隔授業システムを用いて発信します。 | | | |

「音・かたち・色彩から表現とコミュニケーションを考える」

をお申し込みいただく際の注意事項について

この講習は、奈良教育大学の「教員免許状更新講習受付システム」により受付を行います
が会場は奈良教育大学（講習番号3030）、京都教育大学（講習番号3051）、大阪教育
大学（講習番号3052）の3会場で実施されます。また、受講料の振込先も各大学への振
込となりますのでご注意ください。（振込先は受講申込後に実施要項を送付する際にお知ら
せいたします。）

・講習方法

この講習は、90分4コマで構成され、大阪教育大学会場で1コマ、京都教育大学会場で1
コマ、奈良教育大学会場で2コマを実施します。受講される会場のコマでは対面講習、他の
会場のコマでは双方向遠隔授業システムのライブ配信による講習です。

・警報発令時の措置について

講習が実施できなかった会場においては、平成29年11月4日（土）に対面授業で補講を
実施いたします。

3会場ともに実施できなかった場合→奈良教育大学で補講を実施

奈良教育大、京都教育大学で実施できなかった場合→奈良教育大学で補講を実施

奈良教育大、大阪教育大学で実施できなかった場合→奈良教育大学で補講を実施

京都教育大、大阪教育大学で実施できなかった場合→京都教育大学で補講を実施

1会場のみ実施できなかった場合→実施できなかった会場で補講を実施